

交換留学生在「日本」や「日本人」を理解するための“宗教”の授業

交換留学生 21 名が曹洞宗のお寺で座禅に挑戦

～ 住職からの説法に慣れない座禅で「警策(励ましの棒)」を受けるシーンも ～

文京学院大学では、2015年10月2日(金)、本学の交換留学生を対象とした授業「Shinto and Buddhism in Japan(日本の神道と仏教)」の一環として、交換留学生21名が曹洞宗の吉祥寺(東京都文京区)を訪れ、座禅を体験する課外授業を行います。

【 交換留学生の座禅体験について 】

本学では、海外の提携大学から交換留学生在が来日し、本学学生との交流を深める「国際連携教育プログラム」を毎年展開しています。今年はアメリカ合衆国から15名、ブルガリア2名、マレーシア2名、ネパール1名、トルコ1名を受け入れ、交換留学生在21名は8月に来日しました。交換留学生在は、本プログラムが修了する12月までの間、学内外にて日本の文化や生活様式について学びます。

交換留学生在21名が来日後に履修している授業の一つが「Shinto and Buddhism in Japan(日本の神道と仏教)」です。この授業は「日本」や「日本人」を理解する上で重要な“宗教”への理解を目的としており、座学にとどまらず、実際に体験する実習にも主眼に置いています。今回、その授業の一環として、曹洞宗の吉祥寺にて座禅を体験する課外授業を行います。当日、交換留学生在は住職からの説法の後、20分間に及ぶ座禅に挑み、「警策(座禅時の励ましに用いる棒)」を受ける予定です。

つきましては、ご多忙中のことと存じますが、ぜひご取材をご検討くださいませ。なお、ご取材いただける場合は、参加者への周知の都合上、10月1日(木)までにご連絡をお願いします。

《 吉祥寺について (文京区のホームページより) 》

吉祥寺は、太田道灌が江戸城築城の際、井戸を掘ったところ、「吉祥増上」の刻印が出てきたため、現在の和田倉門のあたりに「吉祥庵」を建てたのが始まりと言われています。その後、徳川家康時代に水道橋際に移り、明暦3年(1657)明暦の大火での焼失により現在地に移転しました。

「吉祥寺」交換留学生 座禅体験 実施概要

日 時: 10月2日(金) 11時00分 ~ 12時00分

場 所: 曹洞宗 諏訪山 吉祥寺(東京都文京区本駒込3-19-17)

[※当日は本学(文京区向丘1-19-1)に一度ご集合ください。詳細な集合場所をご連絡の際お伝えいたします]

最 寄 駅: 東京メトロ南北線「本駒込」駅より徒歩7分

都営地下鉄三田線「白山」駅より徒歩12分